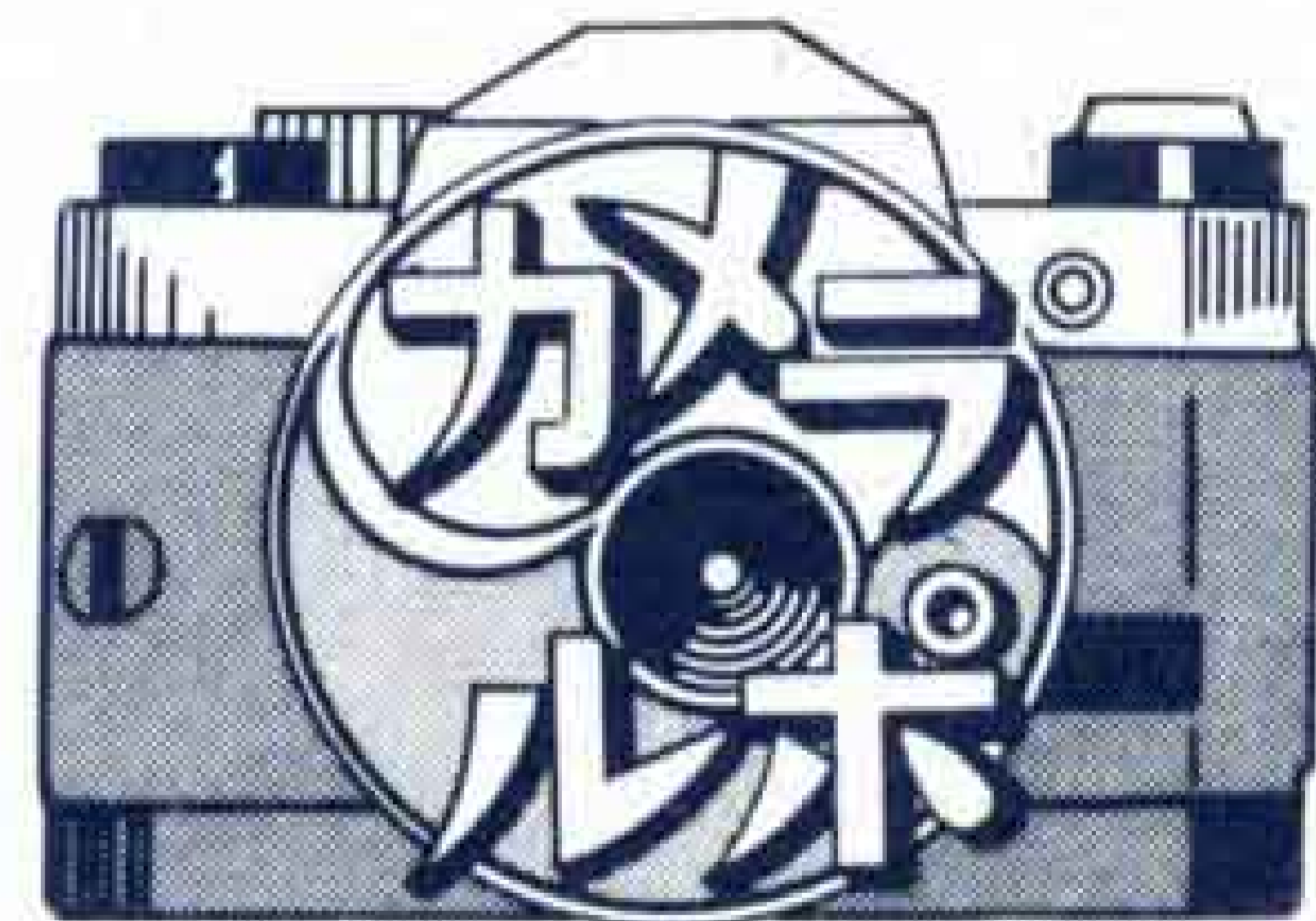




新たな視点…交流相互理解

青少年の健全育成を 考える集い



富士南地区で6月13日夜、富士南公民館を会場に「青少年の健全育成を考える集い」が開かれました。

地区社会教育推進会と南公民館が主催したもので、「これまでの青少年健全育成運動が、街頭指導や啓蒙活動など一方通行になっているので

は…」という反省の上で、「欠けていたものは何かを考えよう」という目的で開かれたものです。

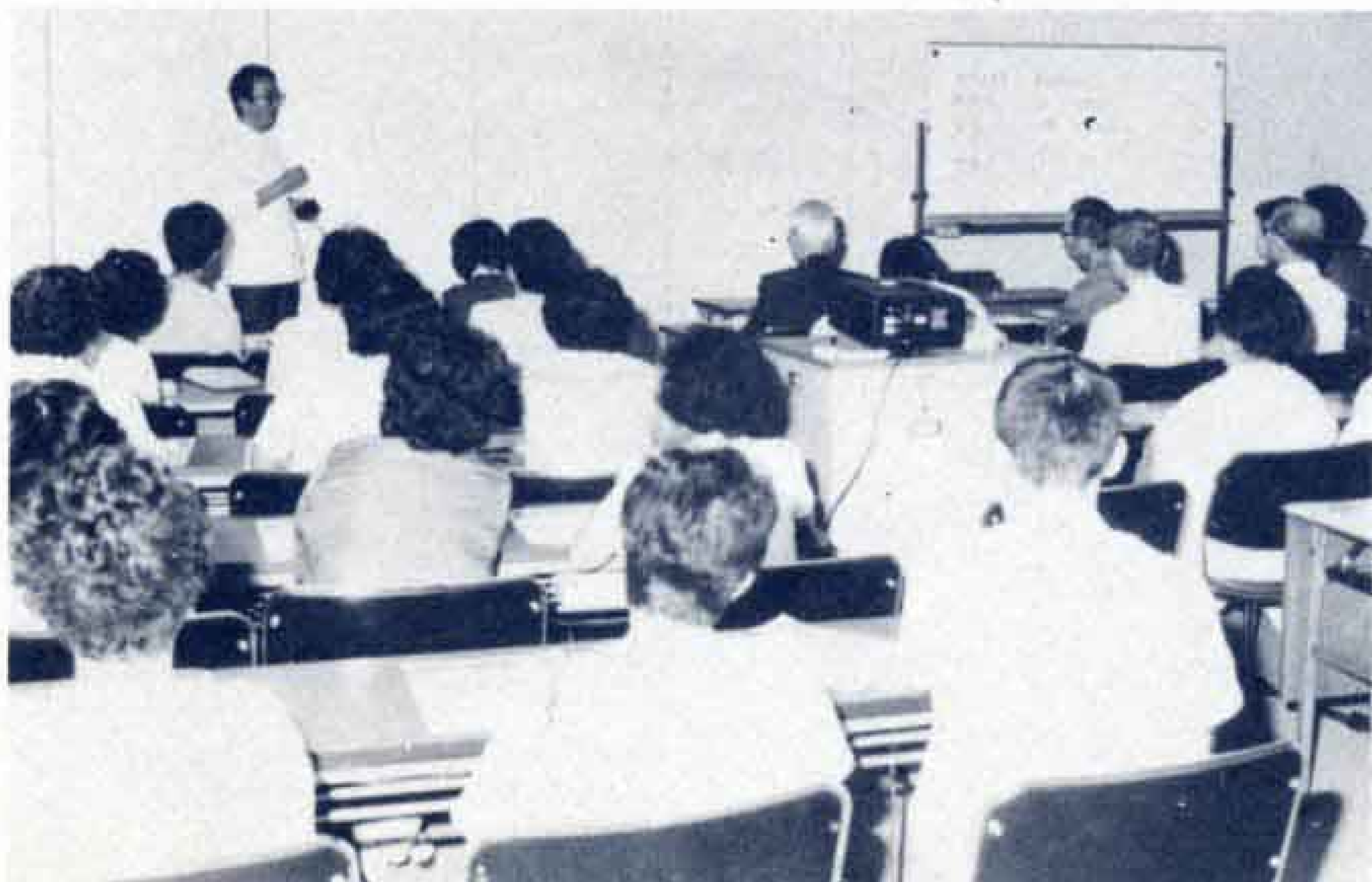
中学、高校、青年、母親の代表による体験発表や意見交換など、150人の参加者は、世代間の交流と相互理解に大きな成果を上げました。

外来糖尿病教室

6月14日(金)に外来糖尿病教室が、中央病院大会議室で開かれました。

この教室は、毎月第2、4金曜日に開かれ、内容として、「糖尿病とは！」糖尿病の治療、食事療法等で、糖尿病の知識を深める教室です。

今回は、糖尿病の合併症について、中央病院第1代謝内科部長 山田治男先生のお話があり糖尿病の患者さんや家族など50余名が熱心に聞きついていました。



△熱心に聞きいる受講生

シンポジウム 2001年の地球経済



▷ パネルディスカッション「岳南経済の理想の21世紀」

6月22日富士市農協会館で、「2001年の地域経済」というテーマのシンポジウムが開かれました。これは市内の若手経営者などで組織する、富士青年会議所が主催したもので、会場のホールには、約500人の人が集まりました。

第1部は、「技術革新と企業経営」というテーマで(株)三菱総合研究所取締役会長の牧野昇氏が基調講演を行いました。

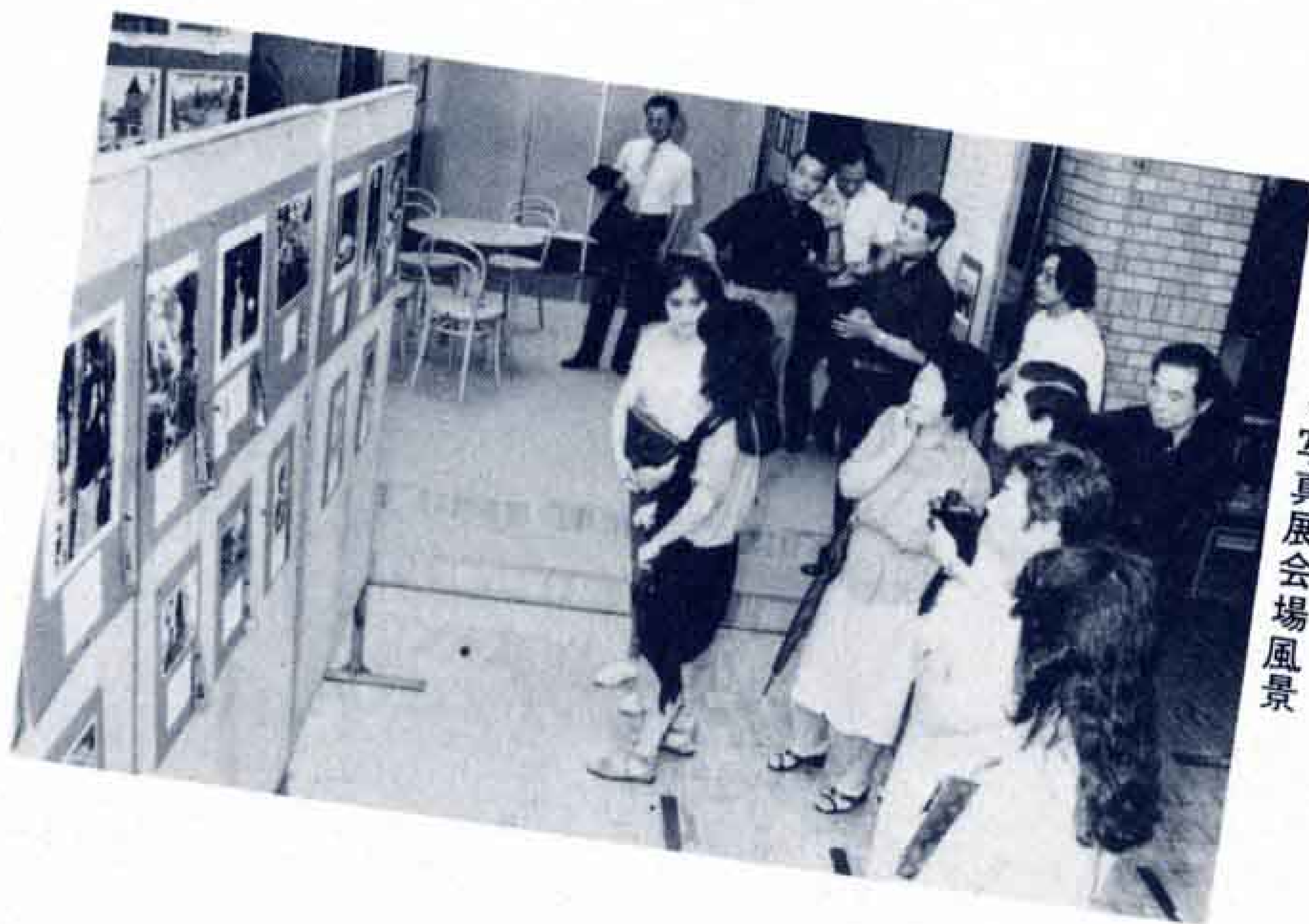
第2部は、渡辺市長ほか4人でパネルディスカッションが行われ、富士市の産業、文化について外から見た期待、斬新な提言が出されました。

ふるさと村 春まつり写真展

ふるさと村春まつり写真展表彰式が、6月23日八百半テパート6階催事場で開かれました。

応募作品277点の中から、入賞作品29点が、展示、表彰されました。

審査評では、「上位のレベルは、なかなかの水準をいっています。特にモデルを扱った作品は、接戦で選ぶのに苦労しました」と言われるぐらい、力作ぞろいで、訪れる人達の目を楽しませていました。



△写真展会場風景

街の話題

ワァーめずらしい

おや！珍しい素焼のトックリ。実は、トックリはトックリでも、スズメバチ科に属するトックリバチの巣。

南町の内田栄一さん宅で発見された代物。しろもの 巣の大きさは、約12センチで、泥を練って作られており、シマ模様の濃淡が実に見事。

一見古代の土器をも思わせる珍しい形にチョットした街の話題となっています。



△かわったハチの巣（トックリバチの巣）